

佐賀大学・小城市交流事業特別展

いのちを守る

—疫病と小城—

種痘之図 佐賀県立図書館



鍾馗に鬼図 公益財団法人鍋島報致会



入場無料

淳一郎君種痘之図 佐賀県医療センター・厚生館



解体新書 佐賀大学地域学歴史文化研究センター



令和3年

11月6日(土)~12月19日(日)

小城市立歴史資料館 企画展示室

[桜城館2階] 午前9時~午後5時 月曜日・11/23休館

主催:佐賀大学地域学歴史文化研究センター・小城市教育委員会

お問い合わせ先:小城市立歴史資料館 TEL.0952-71-1132

〒845-0001 小城市小城町158-4

記念講演会 会場:小城市立歴史資料館研修室 定員:各回25名(要予約)

11月13日(土) 「疫病と小城」 午後2時~3時30分 佐賀大学地域学歴史文化センター長 伊藤 昭弘氏

12月4日(土) 「天然痘と闘う小城の医師たち」 午後2時~3時30分 佐賀大学地域学歴史文化研究センター特命教授 青木 歳幸氏

©新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、イベントの変更または中止になる場合がありますのでご了承下さい。

いのちを守る

―疫病と小城―

佐賀大学附属図書館所蔵の「小城藩日記」には、江戸時代における疱瘡(天然痘)やコレラなどの疫病の記録を多数見いだすことができます。特に疱瘡は江戸時代たびたび流行し、多くの死者を出しました。疫病は身分の上下を問わず襲いかかり、小城藩では藩主から領民まで、疫病の脅威とたたかってきました。

明治維新以降も、さまざまな疫病が流行し、特に大正7年～9年のスペイン・インフルエンザは、世界中で人びとの脅威となりました。佐賀県/小城でのスペイン・インフルエンザの猛威は、地元紙である佐賀新聞から知ることができます。今回の展示では、こうした江戸時代～大正時代にかけての小城における疫病と人びとのかかわりについて、さまざまな史料を用いて紹介します。

展示構成

- 1) 近世日本の医学と疫病
- 2) 佐賀藩の種痘導入と小城
- 3) 近代の小城と疫病



- ◎ JR唐津線小城駅より 徒歩5分
- ◎ 長崎自動車道佐賀大和インターより唐津方面 15分
- ◎ 長崎自動車道多久インターより佐賀方面 15分
- ◎ 長崎自動車道小城スマートインターより 5分

小城市立歴史資料館

〒845-0001 佐賀県小城市小城町158-4 (桜城館内)
TEL.0952-71-1132 FAX.0952-71-1145

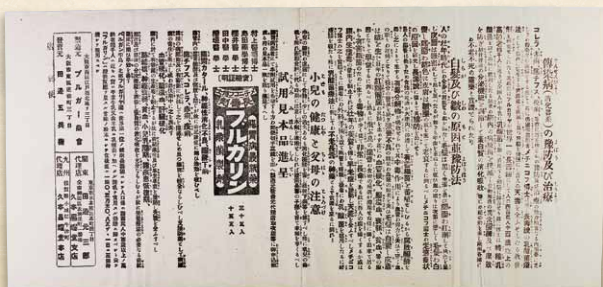
鍋島元武肖像 玉堂寺



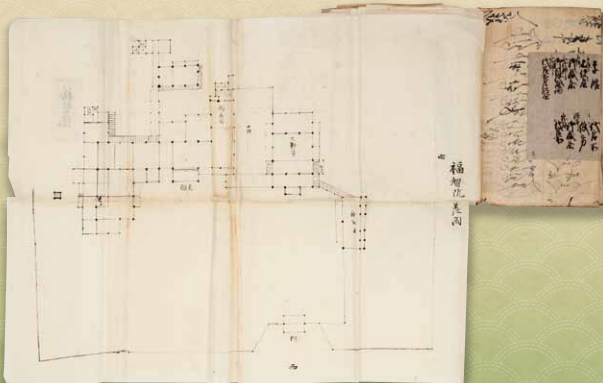
御札版木 須賀神社



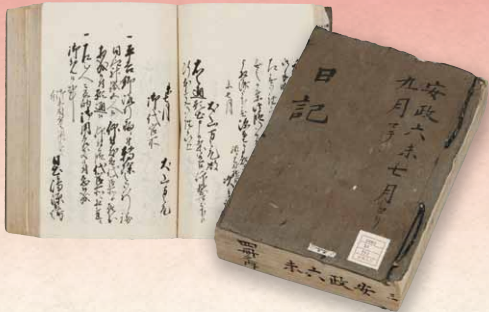
ブルガリン広告 小城市教育委員会



福智院差図 岡山神社



小城藩日記 安政六年 小城鍋島文庫



小城藩日記 慶應元年 小城鍋島文庫



小城藩日記 安政四年 小城鍋島文庫



三日月村予算書 小城市教育委員会



烏犀園薬盒 小城市教育委員会

